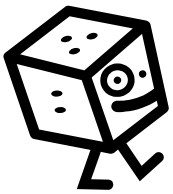
発行日：
2009年８月２５日

明治学院大学心理学部 白金心理学会報

さいころ



第１号

2008－2009

白金心理学会イベント

- 2008年11月8日
  白金心理学会設立総会、クロストーク開催
- 2008年12月18日
  第1回キャリア支援イベント「院進学を考える」開催
- 2009年6月25日
  第2回キャリア支援イベント「リラクセーションを体験しよう！ストレスマネジメント講座」を開催
- 2009年10月24日
  第2回総会開催決定

白金心理学会設立に寄せて

井上孝代学会長（心理学部長）

「待ちに待った」という表現があります。白金心理学会の設立こそは、その「待ちに待った」私たちの願いの実現のような気がします。文学部心理学科から心理学部心理学科へ、定員も６０名から200名となり、今や大学院博士課程（前・後期）を擁する名実共に立派な心理学部となりました。卒業生も１８００名を越した現在、学科開設20周年を目前に、心理学の学びで繋がる在学生・卒業生・教職員のネットワークを作れたら…こんな願いが一つの機運となり、昨年に白金心理学会という形で実を結んだことはこの上ない喜びです。

そんな白金心理学会の活動を会員一人一人に直接お伝えしたくて、このニュースレターを毎年発行することにしました。まさに白金心理学会からのメッセージレターです。愛称「さいころ」は卒業生の発案によるものですが、「**サ**イコロジーを学んだ」、「**異**世代同士」、「**こ**ころを合わせて」、「**ロ**マンを語ろう！」と、各フレーズの頭文字で語呂合わせしてみました。

井上孝代先生

心理学は人のこころを扱うロマンにあふれた実証的な学問であり、同時に時代の要請に応えるべき新しい実践的な科学でもあります。私たちは白金心理学会を通して、そんな心理学の「進化」を語り、実感していこうではありませんか。

心理学部の動き

2010年4月「教育発達学科（仮称）」を開設予定です！

現在、文部科学省に認可申請中ですが、来年４月から新学科として「教育発達学科（仮称）」を開設すべく急ピッチで準備が進められています。複雑化・多様化する現代の環境に置かれる子どもたち（初等教育段階）の心の発達の支援と、子どもをサポートする教育者・養育者の支援を行う人材を育成します。心理学を基盤として、初等教育、障害科学を融合した「教育発達学」は、他大学に類を見ない学科として話題を呼んでいます。小学校教諭一種免許状を取得できる他、幼稚園教諭一種免許状、特別支援学校一種免許状も取得できます（免許を取得できなくても卒業はできます）。活躍の場は、児童館や子育て支援施設なども考えられ、子どもとその支援者の支援を目指す学生にとって魅力あるカリキュラムといえるでしょう。詳しくは明治学院大学心理学部教育発達学科のwebページをご覧下さい。

http://www.meijigakuin.ac.jp/pe/index.html

「心理支援論」が教育GPに選定されました!

心理学部では2005年４月から基幹科目「心理支援論」を全学年の必修としています。「心理支援論」では系統的な講義カリキュラムに加えてグループでの自主的な学習なども行っています。2008年度にこの「心理支援論」を中心とした教育プログラム「心理支援論：心理学教育の新スタンダード」が文部科学省から「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」（GP＝Good Practice）として選定されました。このプログラムは学生の『心理支援力』の育成を目指すもので、講義と体験が繰り返し循環するプログラムです。学生は「心理支援論」等の大学での講義と並行して、授業外に心理支援と関連した学外の機関での活動（体験活動）に参加します。教育GPへの応募は全国の大学から939件あり、選定されたのは148件。このカリキュラムは他大学ではどこも取り組んでいない先駆的な独自のカリキュラムとして学外からも大いに注目されています。

目次：

白金心理学会設立に寄せて　1
心理学部の動き　1
クロストーク：みんなこうして大きくなった　2
白金サイコローゼ キャリア支援イベント　3
１８年、学科から学部へ　3
第2回総会・講演会のお知らせ　4
事務局よりお知らせ　4

クロストーク：みんなこうして大きくなった　大久保街亜（副会長･卒業生委員長）

心理学科設立当初の白金校舎の航空写真が映し出されました

「わたしたち1990年生まれです。」

このあいだ大学生にそんなことを言われて、思わず目がテンになりました。明治学院大学に心理学科が出来たのが1990年。その年に生まれた赤ちゃんが、立派な大学生になるくらい、明治学院大学心理学科の誕生から時間が経ったことを実感した瞬間でした。

そんな長い年月のあいだ、明治学院の心理学科はたくさんの卒業生を重ねてきました。延べ人数は、1800人にもなります。大学の心理学科として決して長い歴史を持つわけではありません。それでも、18年という時間、そして1800人という人数はとても重みのあるものにわたしには感じられます。

クロストーク第1部に登壇の卒業生 橘さん、在学生 福島さん、卒業生 青木さん、司会の大久保さん、佐藤先生、杉山先生（左から）

そんな短いようでずしりと重い18年間を振り返るという意味もあり、第1回総会において卒業生を壇上に迎え、クロストーク「みんなこうして大きくなったーこころを探り、人を支える：明学心理の18年ー」を行いました。

今回のクロストークでは卒業生から出た意見や問いかけに対し、先生方から専門的な視点に立ちコメントをいただいきました。ここに大きな特徴があると思います。先生方からのコメントのおかげで、白金心理学会として、心理学の知識を参加者と共有し、卒業後も学び続けるためのよい機会なったと考えております。

第2部登壇の卒業生 洗さん、伊藤さん、長原さん、藤崎先生、野末先生（左から）

そうとは言え、コメントをつけることは先生方にとってかなりの気苦労だったかもしれません。なにしろ司会者（筆者）の無謀かつ気ままな進行のため、全くのアドリブでコメントをお願いすることになったのですから。たとえば、卒業生の職場で日常について聞いた後「とりあえず、発達心理学的にどう思いますか？」などと「ムチャ振り」をされ、さぞかし対応に苦慮したことと思います。それでも、そんな「ムチャ振り」に対する先生方の反応こそ最大の見せ場だったとの感想も出たくらい好評でした。

当日のクロストークは、ライフステージに合わせた議論をすべきという意味を込めての2部構成でした。第1部では「学びの喜びと不安、職業選択の迷いと決断」と題し、20代の方に登壇していただきました。在学生の福島真一さん（06年度生）が、進学か就職かの岐路に立っていることを話し、進路に関して率直な疑問を投げかければ、現在、東京消防庁に勤務する青木祐輔さん（99年度生）や喜連川少年院で法務教官をなさっている橘 恒平さん（01年度生）が自らの体験も含め真摯に返答しました。

大久保街亜さん

クロストークの内容に関して佐藤眞一先生からは、選択において考えることの大切さについて指摘があり、杉山恵理子先生からは選択における自律性、自分で選ぶことの重要性についてお話がありました。

第2部「仕事の悩みと葛藤、人間関係の軋轢、家族・子育ての不安と喜び」では、まず社会人になってすでに10年以上立っている面々が自分の経歴について話しました。臨床心理士として働く伊藤 信子さん（90年度生）、webディレクターの長原 英太郎さん（91年度生）、CGディレクターとして活躍する洗 豪さん（90年度生）、皆さんさまざまな過程を経て現在の職業や立場についていることを話してくれました。このことからキャリアパスは必ずしもまっすぐな一本道ではないことがわかりました。人生では何度も「選び直し」ができると言い換えることが出来るかもしれません。後日、在学生からこの点が大変印象に残ったとの感想をもらいました。

また、社会人として必要なスキルや能力について、コミュニケーションの重要性が強調されました。藤崎眞知代先生、野末武義先生からもその点についてはご賛同をいただきました。

とまあこんな感じで、書ききれないくらいたくさんのことが話合われた密度の濃い2時間でした。18年という歳月で、明学の心理と共に卒業生も少しずつですが確実に大きくなってきたことが分かった2時間とも言えるかもしれません。

白金サイコローゼキャリア支援イベント　福島真一(在学生部会副委員長)

昨年の12月と今年の６月に「キャリア支援イベント」がおこなわれました。キャリア支援イベントとは、進路支援や生涯的なスキルの獲得などを目的としたイベントのことです。

「院進学ってどうなの？」
（2008年12月18日）

福島真一さん

第１回は院進学を考えるというテーマのもと、川渕竜也さん（01修了生）と鈴木舞さん（現役生）に講演をしていただきました。当日は遅い時間であったにもかかわらず、多くの学部生で賑わいました。参加した学部生は1年生から3年生までと幅広く、大学生にとって進路を考えるということが、学年に関係なく大きなテーマであると実感させられました。

講演の内容は、普段聞くことができない様々な体験談など貴重なものでした。参加した学部生は、この企画を通して自分の進路について考えるきっかけになったのではないでしょうか。

「リラクセーションを体験しよう！」(2009年6月25日)

第２回は金沢先生をお招きして、ストレスマネジメント講座をおこないました。そこでは、技術としてのキャリア支援を目的として「誰でも」「どこでも」「手軽に」できるリラクセーションの技法を体験してもらいました。このような体験型のイベントは、学会としては初めての試みでした。

さて当日の様子ですが、参加者は実際に呼吸法やイメージなどの技法を体験しました。そして先生のやわらかい声のもと、徐々にリラックス状態になっていきました。普段の忙しい生活とは違ったゆったりした気分を味わってもらえたことでしょう。

これからも白金心理学会では、このような在学生のニーズにあったイベントをおこなっていきます。さらに、卒業生の皆さんが参加できるイベントも検討していきます。ぜひご参加ください。

※白金サイコローゼとは白金心理学会の愛称です。

キャリア支援イベントで院進学について話す現役院生の鈴木さん

院修了生の川渕さん。受験のためのテキストや勉強時間などの質問が寄せられました

18年、学科から学部へ　金子健(設立総会実行委員長)

この度、卒業生の呼びかけがきっかけで、「白金サイコローゼ」こと白金心理学会が設立されました。学会の設立という節目の時に、心理学科誕生から学会設立に至るまでの経緯を含めて振り返ってみたいと思います。

ご存じのように、明治学院大学心理学科は1990年に文学部の中に誕生しました。そのずいぶん前から明治学院に心理学・教育学の学部を作ろうというアイデアが教職課程の教員の中にあり、それが実を結んだのが1990年の心理学科誕生でした。残念なことに設置構想の中心のひとりであった山本普先生が心理学科のスタート直前にお亡くなりになり、神保信一先生、山口薫先生、大坪明徳先生、中西信男先生、渡辺三枝子先生、道又爾先生、そして金子健の7名での船出となりました。

出来たばかりのころはキャンパスの様子も今と違い、まわりに高層マンションもなく、古い建物ばかりでした。チャペルなどをのぞけば、今も残っている建物はヘボン館くらいです。総会の当日には当時の写真を何枚かお見せしました。在学生にはずいぶん古めかしく見えたかもしれません。逆に卒業生には懐かしく感じられたことでしょう。学生数も今よりずっとコンパクトでした。

明治学院の心理学科が大きな変化を迎えたのは2004年でした。文学部心理学科から心理学部心理学科へ衣替えをし、学生数も教員数も大幅に増えました。その後もスクールカラーが決まったり、学生全員が白金で授業を受けるようになったりといくつも変化がありました。

金子健先生

実は、この大きな変化と時期を同じくして、白金心理学会の芽が出てきたのです。私たちは大きな変化のあともそれまでの卒業生たちとの関係を大事にしたいと考えていました。その気持ちを察してくれたのでしょう。現在、白金心理学会の事務局を担当してくれているOG、OBのみなさんが中心になり、2005年と2006年に卒業生の座談会を主催してくれました。これが白金心理学会のルーツになり、今回正式に学会設立の運びとなりました。

せっかく出来た白金心理学会です。これを中心に、教職員、卒業生、在学生のみんなでつながっていきましょう。現在、明治学院の心理学科が20年近くをかけて培ってきた財産を元に、世代や立場をこえてネットワークを作ろうと模索しております。卒業生や在学生の親睦の場というだけでなく、人生のライフステージそれぞれを支える心理学を是非、皆さんと一緒に築いていきたいと考えています。

ストレスマネジメント講座の講師:金沢吉展先生

ストレスマネジメント講座では、呼吸法、自律訓練、参加者全員でのからだほぐしを行いました

心理学部：藤崎眞知代先生

第2回総会･講演会のお知らせ

2008年11月８日（土）白金キャンパスにて、120名を超える卒業生・在学生・教職員の参加を得て第１回総会を無事に開催することができました。

第２回総会の開催は、本年10月24日（土）14時より、白金キャンパス3102教室にて行います（同封のチラシをご覧ください）。

第１回参加者のアンケートでは、女子学生の割合が高いことを反映し「子育てや発達についての話を聞きたい」というご意見をいただきました。また、働くことと育児を両立させることの実際を知りたい、という在学生からの意見もありました。

今年の白金心理学会総会後の講演会では、心理学部教授の藤崎眞知代先生を講師に「子育てとサポート～それぞれの現場から～」をテーマとし、就学前の子どもの発達についてのお話や、養育者としてどんな心理支援ができるのかをご講演いただきます。

また、講演後にはそのテーマを受けて卒業生クロストークも行います。育児や育児サポートの現場で日々奮闘する卒業生３名を迎え、体験談や問題意識をお話いただく予定です。

あわせて在学生からは「体験活動発表」をしていただきます（「体験活動」については１ページに記載の「心理学部の動き」の「心理支援論」記事を参照ください）。

総会・講演会終了後には、本館10階の大会議室にて懇親会を行います。昨年は会場定員を超える申し込みをいただき、年齢や立場を超えて話がつきることなく、様々な情報交換の場ともなったようです。

多くの皆様のご参加をお待ちしております！

発行：
明治学院大学心理学部
白金心理学会 事務局

〒108－8636
東京都港区白金台1－2－37
明治学院大学
心理学部共同研究室内

TEL＆FAX:
03(5421)5814
Email:
shinro@psy.meijigakuin.ac.jp
URL:
http://sirosin.org/

事務局より お知らせ

○卒業生のみなさまへ　白金心理学会にご入会ください！

すでに心理学部在学生（学部・院）には、入学時や授業時にリーフレットを配布しご案内しております通り、在学期間中は白金心理学会費として一人年間2,000円をお預かりしております。

卒業生のみなさまにおかれましては、同封のリーフレットをご参照のうえ、ぜひご入会くださいますようお願いいたします。

お預かりした会費は、次のような活動費用にあてられます。

・心理学部（学科）卒業生、教員・在学生との交流会の企画及び運営
・在学生、卒業生のキャリア支援のためのイベント企画及び運営
・心理学部（学科）名簿管理
・総会開催、会報発行、講演会企画及び運営

ご不明な点がございましたら、白金心理学会事務局までご連絡ください。

皆様のご入会をお待ちしております。

○卒業後の住所変更登録にご協力ください！

卒業時より現住所が変わっている方、また、ご実家の住所が変わっている方は、白金心理学会事務局にご一報ください。住所変更登録は白金心理学会web（http://sirosin.org/）の「卒業生へのお願い（連絡先変更登録）」ページで登録できます。ご協力をよろしくお願いいたします。